

令和3年 第831回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和3年5月28日(金)		開会 15:30 閉会 16:40		
開催場所	市庁舎4階 401会議室				
出席委員	窪田教育長	山崎職務代理者	上田委員	桂田委員	
欠席委員	村上委員				
事務局	教育部長	教育部次長 (生涯学習スポーツ課長)	教育総務課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	和久田GL	小坂企画主査		
傍聴者					
会 議				会議の結果	

委員会開会

(教育長) 宣言および開会あいさつ

- ・村上委員欠席報告
- ・現在の児童生徒の感染状況 感染者なし
- ・インターハイ開催に向けた準備状況

1 会議録の承認について

第830回教育委員会定例会会議録〈承認〉

会議録署名人2名の選任

第831回教育委員会定例会会議録署名委員選任〈山崎職務代理者、上田委員〉

2 報告

- ・報告第8号 諸般の報告 令和3年4月30日～令和3年5月27日
行事予定 令和3年5月28日～令和3年6月30日《承認》
(教育長) 5月28日付で嶺南地域教育プログラムに関する連携協定を締結した。

3 議案

- ・議案第15号「令和3年度6月補正予算の要求について」《異議なし》

「教育支援体制整備事業」

(山崎職務代理者) 学校運営支援員配置を新たに4校に配置するということであるが、現在は教職員が施設の消毒作業を行っているのか。

(事務局) 新たに学校運営支援員を配置する4校は、年度当初から学校運営支援員を配置していない学校であり、教職員が施設の消毒作業を行っている。教職員の負担軽減のため、この4校に学校運営支援員を新たに配置する予算を今回の補正予算で要求した。

「公民館施設維持補修費」

(山崎職務代理者) 小浜公民館トイレの洋式化工事をするということであるが、他の公民館は洋式化できているのか。

(事務局) 小浜公民館以外の公民館のトイレは洋式化できている。

「ふるさとの魅力発信推進事業」

(上田委員) ふるさとをアピールするCMを作るということであるが、できあがったCMを発表することは考えているのか。

(事務局) この事業は、県の新規事業であり、CMを作成する県内の小中学校は、作成したCMを県に提出することになり、県で審査会を実施し、入賞されたCMは、県のホームページ、道の駅、各種イベントなどで放映される予

定である。市としては、今後何らかの形で活用できるよう検討している。

(上田委員) できれば、入賞できなかったCMについても発表の場を設けてもらいたい。

(窪田教育長) 発表の場を設けることは、表現力の育成といった観点からも重要であると認識している。作成するCMは、時間にして30秒程度である。この事業は、ふるさとをアピールするCMを作成することを通じて、子どもたちに、魅力ある表現力や発信力を育むことを目指すもので、CMづくりには専門家からのアドバイスを受ける機会も設ける計画になっている。

(桂田委員) このCMづくりの対象となる学年は決まっているのか。

(事務局) 対象は、小学校3年生から6年生までと、中学生ということになっているが、各学校がどの学年を対象としてCMづくりを行うのかということとは決まっていない。

(窪田教育長) 県では今年度から、このCMづくりと併行して、地域の魅力をアピールするプレゼンテーション大会を自由応募で計画している。5分程度のプレゼンテーションを行うことになっている。県としても、市町と連携しながらふるさと教育の充実に力を入れている。

・議案第16号「令和3年度小浜市男女共同参画推進協議会委員の推薦について」

《桂田委員を推薦》

(山崎職務代理者) 委員構成の中で、委員の女性比率はどの程度か。

(事務局) 半数程度が女性委員である。

・議案第17号「小浜市児童福祉委員の推薦について」

《山崎職務代理者、村上委員を推薦》

- ・議案第18号「小浜市教育委員会会議規則の全部改正について」

《承認》

(上田委員) 今回改正する理由は何か。

(事務局) 改正の理由は、会議録の公表することおよび現状に合っていない規定を見直すということである。

(山崎職務代理者) 改正後は、会議録をホームページなどで公表することになるのか。

(事務局) 改正後は、今回の会議録を次回の教育委員会で承認された後、ホームページで公表していく。

(窪田教育長) 今回の改正により公表していく会議録は、市民の皆様にもわかりやすい要旨をまとめたものとしていきたい。

4 教育長報告

- ・福井大学教育学部嶺南地域教育プログラムに関する連携協定の締結について

福井大学敦賀キャンパスにおいて、5月28日に福井大学教育学部と嶺南地区2市4町教育委員会および福井県教育庁嶺南教育事務所の8者で協定を締結した。これは、令和4年4月1日開設予定の嶺南地域教育プログラムを円滑かつ効果的に運営することによって嶺南地域の次代を担う教員の養成を推進することを目的とするものである。協定を締結した。嶺南地域枠の応募者は10名で、応募対象は全国であり、将来嶺南地域で働きたいという志を持った教員を募集する。嶺南地域の高校生のみならず、嶺北および県外の高校生の出願も可となっている。1年生から3年生では、嶺南地域の各市町の協力を得て、地域を知るための講義、演習および実習を行う。3年生での教育実習は附属学校で行い、4年生では嶺南地域の学校で行う。地域に密着した大学の今後の在り方を具体的に示したものになっている。

・小浜の未来を担う総合教育事業について

本事業は、これまでの「ふるさと小浜MIRAI事業」を継承拡充した新規事業である。予算も全体で100万円増額させている。この新規事業の大きな特徴は、基本予算は昨年度までとほぼ同額を各学校に配分しつつ、より魅力的でダイナミックな学習活動も計画している学校に対しては、計画に見合うだけの予算を、さらに上乗せしてつけていくことにある。本事業に応募する学校に対しては、事前に企画書および予算書の提出を求め、その上で、5月27日には各学校からのプレゼンテーションを実施して審査を行った。各学校とも力を注いで本事業に積極的に取り組んでいこうという意気込みを強く感じることができたプレゼンテーションであった。

(桂田委員) プレゼンテーションの結果を踏まえて配当する上限100万円の予算は、何校かで分けて配当するのか。

(事務局) 各学校から提出された予算書をもとに上限1,000千円の予算の配分額を決定し、それぞれの学校に決定した配分額を配当する。

・学校管理職との面談について

5月12日から5月27日にかけて、市内11校の校長、教頭に対して、各学校に出向いて面談を実施した。面談は、校長に対してはスクールプランとその実現のための目標設定について、教頭に対してはスクールプランの実現のための教頭としての目標設定を中心に聴き取りを行い、必要に応じて指導・助言を行った。組織目標であるスクールプランは同一であっても校長、教頭というポジションによって求められる役割は異なっている。校長と教頭が互いに良きパートナーとして一枚岩でリーダーシップを発揮していくことを期待している。また、面談の後は、学校施設の修繕要望箇所を実際に見て確認した。今後、対応

できるものからスピード感を持って取り組んでいきたい。

- ・次回教育委員会で議案として予定しているもの

令和3年度成人式の実施について

押印の廃止について

5 その他

(上田委員) 4月に発生した宮城県の小学校での防球ネットの木製支柱の倒壊による児童死亡事例があったが、本市の学校施設での状況はどうか。

(事務局) 各学校での目視による調査の結果、すべての学校施設で防球ネットの木製の支柱はないという報告を受けている。なお、学校施設の現地調査を予定しており、その時に確認したい。

(上田委員) 小学校の児童が、持久走でマスクを着用していたのかどうかは分からないということであるが、死亡したという事例があったが、市としてマスク着用についてのマニュアルなどはあるのか。

(事務局) マスクの着用について、県を通じて国から、体育の授業時や部活動時のマスクの着用についての指導マニュアルが届いており、昨年度中に各学校へ配布している。その内容では、熱中症と感染予防の両立は難しいということから、体育の授業時等ではマスクを着用する必要はないということである。

(桂田委員) 児童生徒へのタブレットの配布はできているのか。

(事務局) 4月から本市でも、すべての小中学校で一人一台のタブレットを配布している。今年度は、教育委員会にICT支援員を配置しており、毎日各学校へ出向いてタブレットの使用について指導をしている。現在2か月が経過し、各学校ではタブレットを使用した学習に積極的に取り組んでいる。今年度は、まずは毎日、タブ

レットを手にとって使うということを目指している。

(桂田委員) 小学校低学年では、タブレットを持ち運ぶ際に破損してしまうということがあると思うが、自宅に持ち帰りなどはしているのか。

(事務局) 現在、自宅への持ち帰りは行っていない。まずは学校で使えるようにしようとしている状況である。使い方に慣れてきた段階で、自宅への持ち帰りを考えている。

(窪田教育長) 各学校の管理職との面談においても、各学校でのタブレットを使った学習の様子を参観し、確認している。低学年も含め各学校で積極的に活用していただいている。大人が想定していた以上のスピードで、子どもたちが操作に慣れてきていると感じた。

(上田委員) ICT学習への研修会は実施したのか。

(事務局) 昨年度から教員を対象とした研修を実施している。今年度は、専門業者を講師に研修会を実施することを計画している。

委員会閉会

(教育長) 宣言

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 山崎正博 教育長職務代理者

委員 上田俊彦 教育委員